

《子宮頸がんワクチンの比較》

	サーバリックス	ガーダシル
予防できる ヒトパピローマウイルスのタイプ	16型、18型 (子宮頸がんに関与)	16型、18型 (子宮頸がんに関与) <u>6型、11型</u> (<u>尖圭コンジローマにも関与</u>)
接種方法	0・ <u>1</u> ・6ヶ月の3回 筋肉注射	0・ <u>2</u> ・6ヶ月の3回 筋肉注射
接種場所	上腕三角筋	上腕三角筋または <u>大腿四頭筋</u>
接種年齢	<u>10歳</u> 以上の女子	<u>9歳</u> 以上の女子
子宮頸がんに対する効果	16型、18型では ほぼ100%発生予防	16型、18型では ほぼ100%発生予防
<u>尖圭コンジローマに対する効果</u>	—	<u>6,11,16,18型には</u> ほぼ100%発症予防
長期効果	現在9.4年ほどのデータしか 出ていないが、20年以上の効果が 期待される	現在8.4年ほどのデータしか 出ていないが、20年以上の効果が 期待される
検診の必要性	必要	必要
副反応	612例中 疼痛 99.0% 紅斑 88.2% 腫脹 78.8%	562例中 疼痛 82.7% 紅斑 32.0% 腫脹 28.3%
費用	15,000円/回	15,000円/回

現時点で子宮頸がんに対する予防効果はほぼ同じです。

16型・18型では子宮頸がん全体の約70%しか予防できません。

20歳代になったら2年に1回がん検診も受けてください。